【則兼田地譲状（のりかねでんちゆずりじょう）】

（端裏書）

「「　　」分

「　　」の□はたのしち」

きちしやういん（吉祥院）御りやうの内はむろ（羽室）田の事

合壱反者、あさな（字）とらわかまる（虎若丸）にふせおく物なり、

右、かの下地ハ下さみの里の三のつほ、にしのなわもと弐反めなり、しかるに本年貢弐斗五升、かちし（加地子）壱斗三升八合、わら（藁）七そく（束）七ハ（把）なり、たゝしほんねんく（本年貢）ハはむろの納のます（枡）、かちし（加地子）ハてらかたの納なり、もし畠なりあらハ年貢ハわら廿二そく（束）にてあるへし、

後こうたい（後代）のために下状如レ件、

（一三九二）　みつのへ

明徳参年　十一月六日　　則兼（花押）

さるのとし、